

大地評大会、運動方針きめる

大牟田地評はこのほど定期大会を開き、新年度の運動方針を決定、行革ほか当面する闘いを全力で取り組むことをきめた。化学や製煉などの部門に、はげしい合理化が突きつけられている情勢のなかだけに、同地評の今後の活動に寄せられる期待は大きい。

- 第三十 二回大地評定期大会は、十月八日労働福祉会館で開かれ、新年度の運動方針を決定した。
- 運動方針のめざす課題の骨子は、「運動の基調と課題」のなかにも明らかにされている。
- 権利を守る闘いの強化。
- 業病の絶滅。
- 中小未組織労働者との連携強化。
- 財界主導の行革反対、地方自治の確立、市民各層との連携
- 失業反対・雇用闘争の強化、反合理化・反公害、労災・職

原点に帰って闘おう

行革、など秋闘課題山積

行革、など秋闘課題山積

▼賃上げ、全国一律最賃制、社会保険の拡充など、くらしを守る国民春闘路線の実質化。



きびしい合理化の嵐のなか開催された、大地評大会。

原案通り方針案を可決

大牟田地評大会には、全日自労働者から、方針案に修正動議が出された。

- ①労働戦線の統一について。
- ②反戦平和と憲法、民主主義を守る闘いについて。
- ③八三年度の政治決戦について

だが、討論の末の結論として大牟田地評提出の方針案がそのまま可決された。

熊本県総評が機関紙コンクール開催

熊本県総評は、このところの熊本県に当たらせて、今各種の記念行事を取り組まれている。その一つに、機関紙コンクールがあり、今同県総評は各加盟労働組合に対してコンクールに参加するよう呼びかけている。

- 出品条件
- イ、一月〜六月の間に発行されたものに限り。
- ロ、日刊、隔日刊、三日刊のものに連続五回分。
- ハ、月刊、半月刊、旬刊、週刊のものに連続三回分。
- ニ、壁新聞は、十月末までに作成されたもの。

呼びかけには幾つかの参加条件があるが、参考までに紹介すると次の通りである。

十九分会(三川)

本田慶二さん

▼三池 職場や地域両分会の役員を続け、四番 本田さんはまた、三池大災害裁判闘争をささげるCOオルグとしても活躍。訪問先さきの労働組合の、闘いの進め方など勉強され、長年見聞してきた噂い、三池労働組合の組合運動に活用したい、と語られます。

▼昭和三十六年の四月、父親の辰雄さんと、入れ替えて三川鉱入社。一年ほど外雑の仕事をしたあと、いよいよ職場へ。同地評主催の大会で二度ほど優勝した腕まえ。

▼三池 職場や地域両分会の役員を続け、四番 本田さんはまた、三池大災害裁判闘争をささげるCOオルグとしても活躍。訪問先さきの労働組合の、闘いの進め方など勉強され、長年見聞してきた噂い、三池労働組合の組合運動に活用したい、と語られます。

▼昭和三十六年の四月、父親の辰雄さんと、入れ替えて三川鉱入社。一年ほど外雑の仕事をしたあと、いよいよ職場へ。同地評主催の大会で二度ほど優勝した腕まえ。

▼昭和三十六年の四月、父親の辰雄さんと、入れ替えて三川鉱入社。一年ほど外雑の仕事をしたあと、いよいよ職場へ。同地評主催の大会で二度ほど優勝した腕まえ。

三池労組代表

大牟田地評大会には、次の組合代表が参加した。(敬称省略)

- 森田満明(組合長、議長)
- 米村 稔(二十五分会・本所)
- 中原義隆(十二分会・三川)

北炭の真谷地でも落盤死が

北海道では、こんどの北炭夕張新炭鉱の大災害に先だつ十月十三日にも、同じ北炭の真谷地炭鉱で災害が起きている。

この日午後二時二十五分頃のこと、坑口から二百七十メートルほどの排気風道で天盤崩落、直轄支柱員の下山金作さん(52歳)が死した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

この日は午後二時二十五分頃のこと、坑口から二百七十メートルほどの排気風道で天盤崩落、直轄支柱員の下山金作さん(52歳)が死した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

坂口哲也(十三分会・三川) 田中教幸(十四分会・三川) 左藤巨芳(一分会・四山) 立山義人(四分会・四山) 以上のほかに、執行部から芳川組織部長も参加した。

匿名自由、投稿を歓迎

新年特別号への原稿を募集

詩・短歌・俳句・川柳・肥後狂句など それぞれ一人一首以内です。なお、詩は長短を問わない。写真・絵・マンガなど これまでの作品のなかから、これほど自分が思うものを選び、それぞれ一人三首以内です。すべて「白黒」に書き、大きさは用紙一枚型以内。コント・ひとくち話など それぞれ、一人三篇以内。 採見

四百字詰原稿用紙三枚以内。一人一篇。ただし本欄への投稿は主婦・女性(〇〇・選抜する会会員)に限る。 子ども作文 四百字詰原稿用紙三枚以内。一人一篇。ただし小学生に限る。学年明記のこと。

応募資格 三池労組員、その家族、退職者(その家族も)に全国の〇〇・選抜する会会員、三池大災害裁判原告団員、三池新労組員の皆さん。

住所と氏名明記のこと。ただし紙上匿名は自由。投稿上の秘密は、編集部で固く守る。 投稿謝礼 恐縮ながら、心ばかりの「御年玉」を各投稿者に贈る。

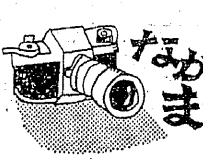
締め切り きたる十一月十五日(土曜)まで。各地からの投稿も、ぜひ当日までに必ず送るよう配慮のこと。

▼原稿募集要領 創作(短歌)・随筆・職場や家庭からのレポートなど 四百字詰原稿用紙四枚(千六百字)以内で、それぞれ一人一篇私の主張(組合運動など)について 四百字詰原稿用紙三枚(千二百字)以内で、一人一篇。

特別な事情を除く限り、原則として作品選考はひかえる。

特別な事情を除く限り、原則として作品選考はひかえる。

特別な事情を除く限り、原則として作品選考はひかえる。



写真

▼三池 職場や地域両分会の役員を続け、四番 本田さんはまた、三池大災害裁判闘争をささげるCOオルグとしても活躍。訪問先さきの労働組合の、闘いの進め方など勉強され、長年見聞してきた噂い、三池労働組合の組合運動に活用したい、と語られます。

▼昭和三十六年の四月、父親の辰雄さんと、入れ替えて三川鉱入社。一年ほど外雑の仕事をしたあと、いよいよ職場へ。同地評主催の大会で二度ほど優勝した腕まえ。

▼昭和三十六年の四月、父親の辰雄さんと、入れ替えて三川鉱入社。一年ほど外雑の仕事をしたあと、いよいよ職場へ。同地評主催の大会で二度ほど優勝した腕まえ。

▼昭和三十六年の四月、父親の辰雄さんと、入れ替えて三川鉱入社。一年ほど外雑の仕事をしたあと、いよいよ職場へ。同地評主催の大会で二度ほど優勝した腕まえ。

▼昭和三十六年の四月、父親の辰雄さんと、入れ替えて三川鉱入社。一年ほど外雑の仕事をしたあと、いよいよ職場へ。同地評主催の大会で二度ほど優勝した腕まえ。

▼昭和三十六年の四月、父親の辰雄さんと、入れ替えて三川鉱入社。一年ほど外雑の仕事をしたあと、いよいよ職場へ。同地評主催の大会で二度ほど優勝した腕まえ。



荒家まは、43歳。住み、三池。職業、三池労働組合の役員。趣味、読書、旅行。